

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	伊予交通安全協会交通指導員設置事業			会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 10 目	事業番号	320		所属長名	新田 亮仙	
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）						担当責任者名	池田 誠	
法令根拠等	伊予市交通安全の保持に関する条例						実施期間	【開始】	平成 0 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり							【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりに向け、警察署、交通安全協会と連携し交通安全推進に寄与する。								
事業の対象	伊予市交通安全協会			事業の目的	伊予交通安全協会へ負担金として支出することで、交通安全活動の積極的な推進及び交通ルール順守の意識高揚を図り、交通安全の保持を目的とする。				
事業の内容 (整備内容)	伊予警察署内にある伊予交通安全協会の婦人交通指導員設置費用等を伊予警察署管内の松前町とともに、免許人口や車両台数等の各種統計比率及び負担調整率に基づき負担している。			昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）												
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績					
財源内訳	直接事業費	4,547	4,615	0	0	0	4,615	婦人交通指導員設置負担金	千円	4547	4615	4615	4615						
	国庫支出金		0	0	0	0	0												
	県支出金		0	0	0	0	0												
	地方債		0	0	0	0	0												
	その他		0	0	0	0	0												
	一般財源	4,547	4,615	0	0	0	4,615	交通安全協会実施活動	回	264	270	152	259						
職員の人工（にんく）数		0.02	0.02				0.02							交通安全協会実施活動への参加者数	人	5977	6510	4676	6046
1人当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086												
※ 直接事業費÷人件費		4,708	4,777				4,777												
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）															
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計								
						4,683	4,751	4,819	4,887		19,140								
成果指標	指標	婦人交通指導員設置費負担金額／活動件数				単位	⇒	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標	毎年度						
								目標	883	883									
	指標設定の考え方	交通安全協会実施事業への参加者一人あたりに対応する負担金額を見て、事業規模の適否を判定する。				⇒		実績	761	763									
								指標で表せない効果											

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			警察署、交通安全協会と連携し、交通安全施策を推進している。									
事業 												

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐			
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐			
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐			
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	